令和7年第1回定例会会議録

四市複合事務組合議会

令和7年第1回四市複合事務組合議会定例会会議録

◎議事日程

令和7年2月19日（水）

午後3時30分開議

諸般の報告（議員の辞職、議員の選出、議案の送付、出席通知）

管理者の招集挨拶

第1 新任議員の議席の指定の件

第2 議長辞職の件

第3 会期決定の件

第4 議案第1号 令和7年度四市複合事務組合予算

第5 議案第2号 四市複合事務組合特別養護老人ホーム三山園条例及び四市複合事務組合老人デイサービスセンター条例を廃止する条例

第6 議案第3号 四市複合事務組合情報公開・個人情報保護審査会条例及び四市複合事務組合行政不服審査会条例の一部を改正する条例

第7 発議案第1号 四市複合事務組合議会個人情報保護条例の一部を改正する条例

第8 議案第4号 権利の放棄について

第9 議案第5号 専決処分の承認を求めることについて

（四市複合事務組合会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例）

第10 会議録署名議員の指名

.....

◎本日の会議に付した事件

1、日程第1から第2まで

1、議長の選挙

1、副議長の選挙

1、日程第3から第10まで

午後3時35分開会

○副議長（中央重則議員） 出席議員数が定足数に達しておりますので、ただいまから、令和7年第1回四市複合事務組合議会定例会を開会いたします。

○副議長（中央重則議員） これより会議を開きます。
議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

○副議長（中央重則議員） この際、諸般の報告をいた

します。

報告事項は、お手元に配付したとおりであります。

[諸般の報告は巻末に掲載]

○副議長（中央重則議員） ここで、管理者に定例会招集の挨拶をお願いいたします。

○管理者（松戸徹市長） 本日は各市議会で大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

また、日頃より四市複合事務組合の事業に対しまして深い御理解と御協力をいただいておりますこと、改めてこの場をお借りして感謝を申し上げさせていただきます。

本日、御審議をお願いする案件につきましては、令和7年度四市複合事務組合予算などの5件でございます。議員各位におかれましては、この案件につきまして、御審議の上、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

また、三山園の社会福祉法人への移譲に関しまして、前回の組合議会定例会にて、三山園建物の無償譲渡について御賛成をいただいたところでございますが、移譲に伴う組合規約の改正に係る協議につきましても、昨年12月の関係市の議会で御賛同いただいたことから、今回の議案には三山園設置条例の廃止なども含まれておりますので、よろしくようお願い申し上げます。

終わりになりますけれども、組合議会並びに係関係市の皆様には、引き続き組合に御支援を賜りますようお願いを申し上げます。定例会招集の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○副議長（中央重則議員） ありがとうございます。

○副議長（中央重則議員） これより日程に入ります。

日程第1、新任議員の議席の指定を議題といたします。

議席は、お手元に配付した議席表のとおり指定いたします。

[議席表は巻末に掲載]

○副議長（中央重則議員） 次に、日程第2、議長辞職の件を議題といたします。

職員に辞職願を朗読させます。

[職員朗読]

○副議長（中央重則議員） お諮りいたします。

成田忠志議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副議長（中央重則議員） 御異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

○副議長（中央重則議員） ただいま議長が欠員となりました。

お諮りいたします。

ここで議長の選挙を日程に追加し、その選挙を行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副議長（中央重則議員） 御異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

これより議長の選挙を行います。

お諮りいたします。

本選挙は地方自治法第292条において準用する同法第118条第2項の規定により指名推選の方法で行うこととし、私が指名することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副議長（中央重則議員） 御異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

現在、副議長である中央重則を議長に指名するものとし、議長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副議長（中央重則議員） 御異議なしと認めます。

よって、私、中央重則が議長に当選いたしました。

ここで一言御挨拶を申し上げます。

.....

○議長（中央重則議員） 私も、私どもの不祥事の関係で前議員から替わって、短い時間でございましたけれども、議員をやらせてもらっております。さらに、たまたま習志野市が副議長ということがあって、議長でありました八千代市の成田さんが今度改選ということで慌ただしく、いつの間にか議長になったということでございますけれども、何分、こういうことに慣れていないもので、ちょっとうまく事が運ぶかどうか、心配であります。

いずれにしても、今日議長ということの立場でこの議事がスムーズに進むように御協力をお願いできればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（中央重則議員） ただいまの議長の選挙の結果、副議長が欠員となりました。

お諮りいたします。

副議長の選挙を日程に追加し、選挙を行うことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**中央重則議員**） 御異議なしと認めます。

これより副議長の選挙を行います。

お諮りいたします。

本選挙は、地方自治法第292条において準用する同法第118条第2項の規定により指名推選の方法で行うこととし、議長が指名することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**中央重則議員**） 御異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

副議長に林隆文議員を指名するものとし、副議長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**中央重則議員**） 御異議なしと認めます。

よって、林隆文議員が副議長に当選されました。

四市複合事務組合議会会議規則第31条第2項の規定により、林隆文議員に当選の告知をいたします。

.....

○議長（**中央重則議員**） それでは、林隆文議員から当選の承諾及び御挨拶があります。

○副議長（**林隆文議員**） ただいま副議長に御推挙をいただきました八千代市の林でございます。中央議長を補佐し、スムーズな議会運営を心がけてまいりますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

○議長（**中央重則議員**） ありがとうございます。

○議長（**中央重則議員**） 次に、日程第3、会期決定の件を議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日1日としたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**中央重則議員**） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日1日と決しました。

○議長（**中央重則議員**） 次に、日程第4、議案第1号

令和7年度四市複合事務組合予算と日程第5、議案第2号四市複合事務組合特別養護老人ホーム三山園条例及び四市複合事務組合老人デイサービスセンター条例を廃止する条例を議題といたします。

〔議案第1号及び第2号は巻末に掲載〕

○議長（**中央重則議員**） 提出者から説明を求めます。事務局長。

○事務局長（**白土太**） それでは、議案第1号令和7年度四市複合事務組合予算につきまして、お手元の令和7年度四市複合事務組合予算書にて説明させていただきます。

予算書の1ページをお開きください。

第1条では、令和7年度の歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ13億6,164万5,000円を計上いたします。令和6年度予算23億5,920万6,000円に対し9億9,756万1,000円の減額となります。

第2条では、地方自治法第292条において準用する同法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額を3,000万円と定めるものでございます。

それでは、令和7年度歳入歳出予算につきまして、7ページからの歳入歳出予算事項別明細書により御説明いたします。

7ページから9ページは歳入及び歳出の総括表となっております。

10ページ、11ページをお開きください。歳入予算につきまして御説明いたします。

初めに、1款分担金及び負担金は7億9,630万3,000円を計上し、前年度比2億5,888万円の減額となります。これは関係4市からの分賦金で、内訳は議会、総務に係る総務費と斎場の管理運営費及び施設整備費となります。

1目衛生費負担金は斎場に係る分賦金で、利用件数の増加を見込んだことなどによる使用料の増加があるものの、前年度からの繰越金の減少や馬込斎場大規模改修事業の起債償還金の増加などから7億9,630万3,000円を計上し、前年度比9,658万円の増額となります。

なお、民生費負担金は三山園に関する分賦金ですが、三山園の社会福祉法人への移譲に伴い廃目となり、前

年度比3億5,546万円の減額となります。

次に、2款使用料及び手数料は3億3,265万5,000円を計上し、前年度比3,161万7,000円の増額となります。増額の要因は、1目斎場使用料について、火葬件数が増加傾向にあることや、それに伴い式場などの利用件数の増加を見込んだことなどによるものです。

次に、3款財産収入は、基金運用収入と財産貸付収入として752万5,000円を計上し、前年度比171万5,000円の増額となります。これは、しおかぜホール茜浜の売店貸付料について、令和6年度に入札を行った契約額で計上したことなどによるものです。

次に、4款寄附金は1,000円を計上いたしました。

次に、5款繰入金は1,000円、前年度比1億5,499万9,000円の減額となります。これは、前年度において三山園の社会福祉法人への移譲に伴う職員の退職手当の財源として、退職手当基金から1億5,500万円の繰入金を計上したことによるものです。

次に、6款繰越金は、令和6年度から7年度への繰越金で1億5,671万5,000円を計上し、前年度比1億1,898万円の減額となります。これは令和5年度から令和6年度の繰越金が、令和5年度予算の執行に当たり人件費や光熱水費の減少、三山園のサービス収入や斎場使用料、残骨灰売払収入の増加などにより多額となりましたが、令和6年度予算の執行に当たっては、この差額が前年度よりも小さかったことによるものです。

12、13ページをお開きください。

次に、7款諸収入は、斎場の納骨容器等の実費頒布と残骨灰売払収入が主なもので、6,844万5,000円を計上し、前年度比915万8,000円の増額となります。これは火葬件数の増加及び残骨灰売払予算単価の見直しに伴う残骨灰売払収入の増額などによるものです。

次に、サービス収入及び県支出金は、三山園の社会福祉法人への移譲に伴い廃款となります。

続きまして、歳出予算につきまして御説明いたします。

14、15ページをお開きください。1款議会費は、組合の議員報酬及び議会運営に要する経費として135万6,000円を計上し、前年度比1万2,000円の増額となり

ます。

16、17ページをお開きください。2款総務費は、特別職及び事務職員の人件費と組合事務局に係る運営経費などで1億3,850万4,000円を計上し、前年度比1億7,121万7,000円の減額となります。減額の主な理由といたしましては、三山園の移譲に伴い、会計年度任用職員2名分及び関係市からの派遣職員1名分の減により、人件費、派遣職員負担金の減があることや、令和6年度予算では三山園職員の退職手当に係る退職手当基金への積立金の計上があったことなどから減額となるものです。

18、19ページをお開きください。3款衛生費は馬込斎場としおかぜホール茜浜の管理運営に要する経費で5億9,301万4,000円を計上し、前年度比423万4,000円の増額となります。

1目斎場総務費は、主に斎場職員の人件費などの経費で4,569万2,000円を計上し、前年度比1,797万円の減額となります。減額の主な理由といたしましては、会計年度任用職員及び再任用職員の減による人件費の減や、令和6年度予算では斎場予約システムのサーバーの更新費用を計上していたことなどによるものです。

20、21ページをお開きください。2目斎場施設費は、斎場施設の維持管理の経費で5億4,732万2,000円を計上し、前年度比2,220万4,000円の増額となります。増額の主な理由といたしましては、火葬炉耐火台車消耗品の更新時期到来による増や非常用発電設備保守点検、火葬炉補修工事の増などによるものです。

22、23ページをお開きください。4款公債費は6億1,377万1,000円を計上し、前年度比3,468万8,000円の増額となります。

1目元金は5億9,140万2,000円を計上し、前年度比3,636万8,000円の増額となります。この主な要因といたしましては、馬込斎場整備事業債の令和3年度及び4年度債の元金償還が開始することから増額となるものです。

2目利子は2,236万9,000円を計上し、前年度比168万円の減額となります。この主な要因といたしましては、令和6年度に新たな借入れがなかったことにより元金の残高が減少したことによるものでございます。

24、25ページをお開きください。6款予備費は1,500万円を計上し、前年度比3,000万円の減額となります。これは三山園の移譲に伴い、三山園に係る予備費が減となることから減額となるものです。

26、27ページをお開きください。

最後に、民生費は三山園の移譲に伴い廃款となります。

28ページから33ページまでは給与費明細書となっております。

34ページは地方債の調書となっております。前年度末現在高見込額といたしまして85億2,646万7,000円、当該年度中の起債見込額はなく、元金償還見込額を5億9,140万2,000円、当該年度末現在高見込額は79億3,506万5,000円となっております。

以上が令和7年度四市複合事務組合予算の説明となります。

続きまして、議案第2号四市複合事務組合特別養護老人ホーム三山園条例及び四市複合事務組合老人デイサービスセンター条例を廃止する条例につきまして御説明させていただきます。

こちら、議案書の1ページをお開きください。

特別養護老人ホーム三山園につきましては、本年4月での事業譲渡に向け、昨年10月の令和6年第2回組合議会定例会において、財産の無償譲渡の議決をいただき、関係市議会におきましても、昨年の12月議会で組合が共同処理を行う事務から三山園を廃止する議決をいただくなど、関係市間の協議が終了し、千葉県知事に対し規約変更の申請を行っておりましたが、先日、規約変更の許可がなされました。

このことに伴いまして、三山園の運営が組合から離れますことから、その設置及び管理に関する条例について廃止をする必要があるため、今回条例を議案として提出させていただいたところでございます。

内容といたしましては、特別養護老人ホーム三山園条例及び三山園デイサービスセンター条例を廃止するものです。

なお、経過措置といたしまして、条例廃止後におきましても、本年3月31日までの利用料等につきましては、従前の例によることとしております。

また、三山園の廃止に伴いまして、三山園施設等整備基金条例及び三山園移譲先法人選定委員会設置条例を廃止し、一般職給与条例及び会計年度任用職員給与条例から三山園職員に関する規定を削除及び所要の調整をし、職員定数条例内の職員定数について、事務局及び各斎場における行政運営における必要職員数とする改正を行うものでございます。

この条例の施行日は令和7年4月1日となります。

以上が条例案の説明となります。

以上でございます。

.....

○議長（中央重則員） これより質疑に入ります。

なお、質疑の際は、できるだけ予算書や議案などのページを添えていただくと分かりやすいと思いますので、よろしく願いいたします。

質疑ありますか。

松崎議員。

○6番（松崎さち議員） それでは、議案第1号の来年度予算について質問を行わせていただきます。大きく3点なんですけれども、火葬の待機日数と、あと民間委託、それから斎場の使用料についてお伺いをいたします。ページは予算書の10ページ、11ページになります。

昨年の今年度予算を審議する議会の中で、習志野市の谷岡議員が火葬までの遺体保管の日数が長くなっていく件に触れまして、遺体保管料の軽減を求めています。私もそれは軽減すべきだと考えますけれども、来年度予算において何らかの措置がされているのかどうか、どういうふうに見直されたのか、お伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） しおかぜホール茜浜斎場長。

○しおかぜホール茜浜斎場長（鶴岡拓人） しおかぜホール茜浜斎場長の鶴岡です。よろしく願いいたします。

保管日数と火葬そのもの、待機期間が特に繁忙期ということだと思うんですけれども、長期化する部分ということの御質問かと思えます。現状で申し上げますと、私ども亡くなられた日から火葬に至るまでの日数ということで期間を集計しまして、対応を考えるよう

な形を取っておるところでございます。

昨年の繁忙期、令和6年1月の平均日数が、亡くなられてから、おおむね7.4日といった日数になっております。やはり今年度も同様に、日数のほうは1月に入って長い日数お待ちいただくような形にはなってございます。毎年、火葬件数自体が増えておりますので、今年度1月の平均ですと8日に届くような形になっております。

私どもといたしましては、今年度、初めての取組でありますけれども、馬込斎場のほうを1月24日から、通常、時間3件のところ時間4件で28件という件数で火葬を行っております。しおかぜホール茜浜のほうでは、通常28件のところを30件という形で火葬件数を増やして運営しております。

こういった形で、火葬日数の軽減というところは繁忙期と閑散期の差が非常に激しく、また、どのタイミングで繁忙期のピーク、山が訪れてくるかもちょっと読み切れないようなところがある中で業者と協議をして、一定程度の予約状況、混雑が見られた場合にすぐに火葬の件数を増やすというような形を取りまして、今現在では大分日数のほうも緩和されているようになっていくかと思っております。保管庫のほうも、やはり1月の末前後が一番厳しい状況であったかと思うんですけども、かなり満室に近いというような状況もあったところがございます。

取りあえず毎年いろいろ対策を考える中、今年度、火葬件数を時期に応じて増大するという中でお待ちいただく期間を低減するという。やはり日数的には、これから火葬件数が増えてくると厳しい部分が出てくるかと思うんですけども、取りあえず着手をして今年の繁忙のシーズンを乗り越えたところがございますので、今回のやり方を参考に来年度以降、まずは火葬自体を、いいタイミングで処理、お待ちいただかないように、我々のほうも件数の拡大の対応を進めていくと、こういうところを来年度もまずはやっていきたいなと思っております。

以上です。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） 御丁寧にありがとうございます。

ます。

それで今おっしゃられなかったんですけども、繁忙期と閑散期の火葬待ちの日数、最大何日になっているのかというのを伺いたいのと、それから繁忙期は火葬炉の稼働率、どれぐらいになっているのか伺いたいと思います。

○議長（中央重則議員） 事務局長。

○事務局長（白土太） 待ちが、先ほどの説明の1月が繁忙期となっておりますが、お亡くなりになってから火葬までの日にちが最大で馬込斎場で13日間、茜浜も13日間というのが令和5年度の実績となっております。また、閑散期につきましては、例年6月頃が比較的の火葬が空く頃となっております。最大ですと、やはりこちらでも11日、12日と、お亡くなりになってから待たれる方もいらっしゃいます。反対に最少、お亡くなりになってから短い期間といいますと、1日、2日で火葬になるという方もいらっしゃいました。

以上でございます。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） 最大については、ただ閑散期であっても、やはり10日を優に超えているということで、今、いろいろ対策、もうされているとおっしゃってはいらっしゃるんですけども、やっぱり火葬炉の増設が必要ではないかと考えます。

先日、民間の業者さんからも、火葬待ちの日数は長くなっていると、そういうお話を伺っております。それから、市民の方から私もお話を伺っているんですけども、最近でも10日間待たされた。御遺体の保管は民間だと大変高い。四市斎場だと5,000円のところ3倍、1日1万5,000円はするという。物価高騰のさなかで重い負担になっております。健康保険で葬祭費5万円は支給されますけれども、支給までは2か月かかります。最近、やっぱり御時世ですから家族葬が増えている。そういう中で、なかなかお香典なんかも集まりませんので、やはりこれについては重い負担になっているところを見るべきではないかと思っております。

新年度予算で何らか火葬炉の増設、しおかぜホール茜浜で、まだあと3基増やせると伺っております。

ども、それについては何か手だてをされているのかどうか。それから、市民負担の重さについてどういう御認識でいらっしゃるのか、お伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） 事務局長。

○事務局長（白土太） 12月、1月の期間につきましては、お待ちいただくことが大変多いというのは認識しております。

その中で、今、議員のほうから火葬炉の増設と、ハードの面で考えたらどうだという御指摘いただきましたが、まずは現状のハードスペックで運用面を検討して対応していきたいと。お待ちいただく市民の方に対しては、待っている間の遺体保管室の使用料等、御負担いただいておりますので大変心苦しくは思っておりますが、なるべく早く火葬ができるような体制を取っていけるように検討していきたいと考えます。

以上です。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） そうしましたら、運用面で具体的にどういうことをされるのかをお伺いしたいと思います。皆さん御存じのとおり高齢化社会ですから、これから死亡される方が増えていくわけです。船橋市の2019年の人口推計でも、65歳以上の人口は2023年15万7,000人に対して、2053年は21万6,000人と1.4倍近くとなります。今のままだと一層待機日数は増えていくということですから、やはり具体的にどういうことをやっているのか明らかにしていただきたいと思っておりますけれども、お伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） 事務局長。

○事務局長（白土太） 具体的な施策につきまして、現在行っておりますが、1時間帯の火葬できる件数を状況に応じて拡大していくというのがまず第1点。

それと、近年、近隣斎場で実施されておりますが、今までしおかぜホール茜浜と馬込斎場では実施しておりませんが、友引日の火葬を実施するなどの方策も検討する必要があると考えております。

以上です。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） 今おっしゃられた1時間当たりの火葬炉を動かす件数を増やしていく、それから

友引にも営業される。それぞれどれぐらいの効果が見込まれると検証されているのか、お伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） 事務局長。

○事務局長（白土太） まず、1時間の火葬件数を増やす場合、馬込斎場は大規模改修工事に入る前、それ以前は1時間当たり5件の火葬をしておりました。ただ、火葬炉の改修工事は実施しなかったため、火葬炉の長寿命化を図る必要があることから、現在は時間3件に絞らせていただいております。ですので、あと時間2件増やすことができます。となりますと、火葬炉の負荷を考えなければ1日に7時間帯の火葬がございますので、1日当たり最大14件増やすことができると。今は21件ですので、3対5の比率で火葬件数を増やすことができます。

また、友引日に火葬を実施しましたら、今、馬込斎場は1日当たり時間3件で21件の火葬、しおかぜホールは時間4件で7時間帯で28件の火葬を行っておりますので、1日当たり49件の火葬ができるというふうに試算はしております。

以上でございます。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） そういう運用面もありますけれども、でも、抜本的には火葬炉の増設というものがやっぱり求められるんじゃないか。物価高騰というのは終わりが見えておりませんので、その点については増設を求めたいと思っております。

次に、斎場の使用料についてお伺いしたいと思います。前年度より3,000万円増加をしていて、ページは同じく予算書の10ページ、11ページなんですけれども、先ほどの御説明ですと、火葬件数と、それに伴って式場の利用件数が増えているから3,000万円増加しているということなんですけれども、利用料が上がっているんじゃないんでしょうか。この点について、新年度において馬込斎場の利用料がどういうふうに変化するのか、お伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） 事務局長。

○事務局長（白土太） 馬込斎場の火葬の利用料金が7年度増加しているんじゃないかというお話ですが、

料金改正につきましては、令和5年度に実施いたしました。本来ですと、令和5年度にしおかぜホールと馬込斎場、同額の火葬料1万1,000円に増額するところ、当初の2年間、5年度、6年度につきましては、激変緩和措置として軽減しておりましたので、来年度、7年度が料金改正をした正常の金額になるものでございます。

以上でございます。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） 正常になるということなんですけれども、御時世考えれば、やはり非常に冷たいなど思わざるを得ないと申し上げておきたいと思えます。

馬込斎場ですけれども、おっしゃられたとおり、しおかぜホールと統一をするために、この間、段階的に引き上げられ、15歳以上の方の1体当たりの火葬料金は、2019年度は3,700円、これが新年度は1万1,000円と3倍になっております。立川市、昭島市、国立市、八王子市など、全国には無料の公営火葬場が複数あり、近くの柏市、千葉市なども6,000円台ということで、近隣と比べても割高になっているのが四市複合事務組合の斎場料金です。

この点なんですけれども、全体として、さっき申し上げましたけれども、待機日数が増えて、この間、火葬炉の管理運営も完全に民間委託されております。災害時の対応も、果たして民間企業がそこまで責任を負えるのか。しかし、いざとなったときに四市の職員が対応できるようなノウハウがないというような最悪の事態も起きかねない状況が生まれております。

こうした中で、料金ばかりがこうやって上がっていくということについては、市民感情としては非常に納得できないものがあるんですけれども、この点についてお伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） 事務局長。

○事務局長（白土太） 料金改正につきましては、その時点での火葬に係ります経費のほうで精査させていただいて改正をさせていただきました。

また、災害時、対応はどうなるんだと。今、火葬自体も業務委託しております。その業務委託している契

約の中に災害時も対応するように、もしくは災害時に増員するようにと、要望も契約上載せております。

以上でございます。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） 幾ら契約といたって、憲法尊重擁護義務が別に民間の職員にあるわけじゃありませんので、そこはやっぱり大きな違いがあるということは申し上げておきたいと思えます。

近年、本当に火葬というのは避けられないんですけれども、異常な物価高騰で社会的な緊張も高まっているという声も出ているんです。実際、犯罪も増えてきているということで、住民の福祉増進という役割が自治体にはありますので、料金の引下げを強く求めるものです。

この点で、斎場の整備というのは国の補助金とか交付税措置というのがあるのかどうか、お伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 現状、斎場に関する補助金については、国のほうから制度はございません。交付税措置につきましても、基本的には包括算定も恐ろしくなかったと記憶しております。

以上です。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） 今、亡くなる方がすごく増えてきているにもかかわらず、補助金はないし、交付税措置もないって、これはやっぱりちょっとおかしいんじゃないかなと。この点については、自治体から意見されているのかどうか。四市複合事務組合としては、国に対して意見されたことはあるんでしょうか、お伺いしたいと思います。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 四市から国への要望というのは、現状やったことはないんですけれども、この斎場のもともとの考え方、先ほど高いというお話いただいたんですが、安いところを御指摘、羅列されたと思うんですけれども、県内の中でこの四市の金額は、平均的に見たときに、そこまで高いという設定にはなっておりません。

また、国としても、現状で言うと、東京都などにつきましては、都内の斎場、全体のうち2つの斎場以外については全て民間になっていて、そちらの金額については十数万円という金額が設定されております。実際、どういった金額設定が一番いいのかというのは、なかなか難しいところだと思われませんが、現状としましては、一定程度福祉的な施策の中で公費を投じながら市民の方々に一定の割合をしていただくと。この金額は、こちらとしては適正な水準で設定をさせていただいたという認識でおりますので、国等に対しても、こちらから要望は出していないという状況になっております。

以上です。

○議長（中央重則議員） 松崎議員。

○6番（松崎さち議員） 全体的に国民の所得が、特に氷河期世代を中心に落ちていて、しかも、物価高騰が物すごい進んでいる中で、むしろ下げていかなければ本当に悪くなる、公的サービスとしては後退するばかりだと思います。

都内は十数万円っておっしゃったんだけど、やっぱり異常なことだとして、住民の方から反対運動が起きているような、本当におかしいんじゃないかという運動も起きているんですね。ですので、それを正常とすべきではないと思いますので、国に対してきちんとそれは求めていただきたいということを要望して終わります。

○議長（中央重則議員） ほかに質疑ありませんか。

谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） では、まず議案第1号について、歳出のほうだけちょっと伺っていきます。

歳出第3款衛生費第1項斎場費第1目斎場総務費に関連することですが、今ほど火葬についての話がありましたけれども、私は馬込斎場やしおかぜホール茜浜における葬儀について伺いたいと思います。

斎場で葬儀をされる方もいらっしゃるわけですが、4市の市民が2つの斎場を年間でそれぞれ何件ずつ利用されているのか伺います。

○議長（中央重則議員） しおかぜホール茜浜斎場長。

○しおかぜホール茜浜斎場長（鶴岡拓人） 令和5年

度決算の件数になりますが、馬込斎場、茜浜斎場、それぞれ各構成市ごとに申し上げますと、馬込斎場の式場利用が船橋市643件、習志野市が24件、八千代市が49件、鎌ヶ谷市が172件、茜浜のほう船橋市234件、習志野市381件、八千代市99件、鎌ヶ谷市11件。このほか、茜浜のほうは管外利用ということで10件の利用がある、このような状況になっております。

以上でございます。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） それで気になるのが、近くに公共交通機関がないしおかせホール茜浜です。タクシーを使わざるを得ない、不便な思いをされている方が少なくないのではないかと思います。地元の習志野市であれば、近い人だったら自転車でも行けるわけですし、車でも行きやすいかもしれませんが、船橋の方が234件。八千代、かなり離れているところが、葬儀ということで式場にいらっしゃる方が99件です。鎌ヶ谷の方も11件ということになると、やっぱり電車を使ってくると。ところが、駅を降りても交通機関がなくて結局はタクシーを使うという方も少なくないかと思います。ついては、しおかぜホール茜浜の利用者の交通手段は近年どのような動向になっているのか伺います。

○議長（中央重則議員） しおかぜホール茜浜斎場長。

○しおかぜホール茜浜斎場長（鶴岡拓人） お答えいたします。

私も独自に来場手段の調査というのを行ってきておりまして、その中で、まず今年度、ここまでの状況ですと、タクシーで来場されている方が8.8%ほど。それ以外の方というのは、自家用車、あるいは葬儀会社が手配をしたバスでの御来場というような形になっております。大体1割に満たないタクシーで御来場される方がいらっしゃるという状況は、ここ数年、変わらず同じ状況で来ている、このような形と捉えております。

以上でございます。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 近年はコロナの影響もあり、また家族葬が増えているということもあって、わざわざ式場で葬儀をされる方というのも以前に比べると少

なくなっているのかもしれませんが。ただ、タクシーを使うぐらいだったら自家用車で来るという方も多いかと思うんです。これは結局、ほかに交通機関がないから自家用車で来るということであり、葬儀となると、時にはお酒が出されることもある。様々な飲み食いをしして故人をしのぶということもある中で、馬込斎場と比べると、自家用車を使わずに来る手段というのが少ないというのはやっぱり問題だと思うんです。

ですから、タクシーを利用する人が現状で少ないからといって、そこで止まってしまうのではなくて、やはり馬込と同様の交通機関というものを整備していきようにこれまでも要望してきましたが、送迎バスを準備するとか、または民間のバスのバスルートの延伸などを検討するということをやっていたらいいかと、これは要望としておきます。

では、続きまして議案第2号のほうもよろしいでしょうか。

○議長（中央重則議員） どうぞ。

○12番（谷岡隆議員） では、質問していきますが、本日付で三山園職員労働組合から申入書が前議長宛てに出されています。議員にも配付をされました。それを読むと、三山園職員労働組合のほうは今回の民営化には納得していないのではないかと思います。この組合との交渉は現在どうなっているのでしょうか。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 現時点で事務局のほうに労働組合からの団体交渉の申入れがないというような状況になっております。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 団体交渉の申入れはないとは言っても、申入書は来ているわけですよね。

私、この中で、利用者の立場としても捨ておけないなと思ったのが下の部分です。「結果として6割の正規職員が退職を強いられる結果となりました。大幅な職員の入れ換えが生じ、ケアの質が低下することなども心配です」。その次、「『医療度の高い利用者には退所していただき、看護師の夜勤をなくす』などの言動もあったようです」と、これは捨ておけない話だと

思うんです。

については、「医療度の高い利用者には退所していただき、看護師の夜勤をなくす」と。これ、事業者のほうがかこう考えているのであれば、これはやめさせる必要があるんじゃないかと思いますが、当局はどのように考えているんですか。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 正職員につきましては、6割の職員が退職するという形になっておりますが、全体で見ますと、既存の職員、会計年度を含めまして6割超の職員が残ってもらえる形になっております。

ただ、この「医療度の高い利用者には退所していただき、看護師の夜勤をなくす」ということ、ここにつきましては、どういった根拠に基づく話なのか確認が取れませんので、明確にお話はできないんですけども、看護師の夜勤帯につきましては、オンコールという形で法人としては検討していると聞いております。

オンコールというのはどういった形なのかと申しますと、今まで看護職員がずっと夜勤で常駐し、医療体制の判断をしていたところを、オンコール、電話等で医師や看護師に確認する、対応方法を判断してもらうという仕組みを法人としては取り入れたいと考えているそうです。なお、既存の施設でも、千歳会としては、看護体制についてはオンコールで確保し、対応ができていると聞いており、医療度の高い利用者には退所してもらうといったことは当然ありません。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 医療度の高い利用者には退所していただくと、こういうものは、民営化したら退所させられたということはあってはならない話ですから、これについては事実関係をきちんと調べて、事務局、組合のほうからも、絶対にこういうことがないようにということを強く申し入れていただきたいと要望しておきます。

三山園職員の扱いについてですが、今、6割超残るという答弁がありました。それ以外の方、再就職先はどうなっているのでしょうか。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 現状、全常勤職員について、面談をさせていただき、意向についても確認をさせていただいております。職員は6割超残りますが、それ以外の職員につきましても、ほぼ全員の就労先が決まっている状況です。

しかしながら、数名の職員につきましては今後どのような働き方をすべきか、現状でも迷っていたり、幾つかの就労先から内定をもらってはいるものの、現時点では最終決定までは至っていない、どこにしようかと迷っているというような理由で就労先を決めていない職員もおりましたので、今後も職員からの聞き取りを続けまして、就労等、もし相談等があれば、こちらの事務局のほうでも相談に乗るといった話はずっとさせていただいておりますので、その支援を続けていきたいと考えております。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） まだ決めていない、決められないという方が残っているという中で、組合のほうからもこういった申入書も出てきたのではないかと思います。

今回の廃止条例の施行日までは1か月余りしかないわけですが、現時点で再就職の面談自体が終わっていないという職員というのは残っているのでしょうか。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 再就職に関する面談という位置づけがなかなかちょっと難しいところだとは思いますが、まず意向の確認については、移譲先候補法人が千歳会に決まった後、10月頃に全職員と面談を実施しております。それとは別に1月下旬から2月の中旬にかけて、常勤職員全て、再度、最終意向の確認という形で2回目の面談を実施して、就労先の確認だったりさせていただいたところです。

会計年度職員につきましては、家庭の事情でお辞めになる方とかを除いてですけれども、ほぼ三山園で引き続き就労していただけるという形を取っておりますので、その方々につきましても、今後再度面談を実施させていただく予定でおります。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 現在、三山園の職員さんたちは公務員なわけですね。では、そこの三山園がなくなるから、船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷の4市の公務員として再就職できるという職員はいらっしゃるのでしょうか。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 先日、職員1名から鎌ヶ谷市の職務経験者枠の一般行政職に内定をいただいたという報告がありました。職員から直接聞いているだけです。正式な手続はこれから行う予定であるという話を聞いております。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 現状で1件ということですよ。

それで、廃止条例の施行日までに再就職先が決まらない職員はどうなるのでしょうか。結局、実質的に退職しない場合は分限免職となってしまうのかどうか、伺います。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 現時点では勸奨退職制度により手続を進めてほしいという形で、面談時に全職員について説明させていただいております。可能な限り分限免職とならないよう、引き続き支援を続けていきたいと考えているところです。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 可能な限りということですから、分限免職で結局は無理やり辞めさせるというようなことが起こる可能性もあると考えられます。そういうことはするべきではないというところで、ないように要望しておきます。

最後に民営化について、利用者やその家族の御理解は全員からいただけているのでしょうか、伺います。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 利用者家族につきましても、説明会を3日間かけて開催させていただきました。

その中でいろいろな質疑等ありまして、事務局だけではなく、千歳会のほうからも説明等もさせていただいております。

今、現状、利用者様との正式な契約等は千歳会が進めているという形で、ただ、利用者様のご意向であったりそういったところを踏まえながら適切に対応していただきたいと考えております。少なくとも既存の利用者様が必ず引き続き利用ができるような体制だけは確実に取らせていただきます。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 民営化されるから、ほかに移りますというわけにはいかない方々ですからね。私は民営化自体に反対なわけですけども、今後、このことが進んでいくという中では、利用者さんが納得いかないということのないようにしていただきたいと要望して、私の質問を終わります。

○議長（中央重則議員） ほかに質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより討論に入ります。

まず、日程第4、議案第1号令和7年度四市複合事務組合予算の討論に入ります。

なお、討論がある場合は反対討論と賛成討論を交互に行います。

討論はありますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 討論がありますので、まず反対討論を行います。

反対討論の方の発言を許します。

松崎議員。

○6番（松崎さち議員） それでは、令和7年度四市複合事務組合の予算に反対の立場で討論を行わせていただきます。

県内唯一の公設公営の特養ホーム三山園の民営化は、最も弱い立場にある方ほど被害を受けることであり、強く抗議をしたいと思っております。

続いて、斎場予算についてでございます。

使用料の大幅の値上げが含まれております。この間、しおかぜホール茜浜と馬込斎場との統一料金が目指され、段階的に引き上げられてきました。その引上げが完了するのが新年度であります。15歳以上の方の火葬1体当たりの料金は2019年度3,700円、これが新年度は1万1,000円と、3倍になります。式場の使用料もセット料金が導入され、負担増です。物価高騰でただでさえ苦しんでいる市民に冷や水を浴びせるものです。

近隣の柏市、千葉市は6,000円、そして全国では無料という自治体が多数あり、そこと比べれば当組合の料金は割高なものです。加えて火葬待機日数の増加、災害時の対応が懸念される火葬炉の管理運営の完全民間委託など、利便性も安全性も損なわれております。住民サービスも行政の在り方としても大きく後退しており、市民に負担を強いております。

また、今後の死亡者数の増加に見合った火葬炉の整備が求められますが、それについては予算がついておりません。友引営業を始めるなど、拡大していくことですのでけれども、その検証と報告を引き続き行うことを求めてまいります。

加えて、しおかぜホール茜浜にまだ3基増設できるスペースがある。ですので、補正予算を検討してでも早い段階で増設に踏み出していきたいと思えます。

以上のことを指摘いたしまして反対討論といたします。

○議長（中央重則議員） ほかにありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 次に、賛成討論を行います。

賛成討論の方の発言を許します。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 賛成討論なしと認めます。

よって、討論を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより採決に入ります。

本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中央重則議員） 起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

.....

○議長（中央重則議員） 次に、日程第5、議案第2号四市複合事務組合特別養護老人ホーム三山園条例及び四市複合事務組合老人デイサービスセンター条例を廃止する条例の討論に入ります。

なお、討論がある場合は反対討論と賛成討論を交互に行います。

討論はありますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 討論がありますので、まず反対討論を行います。

反対討論の方の発言を許します。

谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 議案第2号特別養護老人ホーム三山園条例及び老人デイサービスセンター条例の廃止に反対の討論をします。

千葉県は公設の特別養護老人ホームの割合が全国平均よりもかなり低く、民間移譲よりも公設だからできることを追求すべきであったと考えます。過去の組合議会の会議録によると、四市複合事務組合としては、パーソン・センタード・ケアの理念を掲げて三山園を運用していこうとしていた時期もありました。一定の経費はかかるとしても、他の民間事業者では受入れが困難な高齢者を受け入れる施設として公設を守るべきでした。

さらに、前回の定例議会でも質疑、討論をしましたが、移譲先法人の理事長の不適切、不真面目な動画の拡散、不当労働行為など、社会福祉法人千歳会に大きな問題があったことを移譲先法人選定委員会が見落としのまま、その法人1者だけを候補とし、たった3回の審議で選定が進められたことも問題です。

三山園の建物は築20年で新耐震基準にも合致しており、その価値は約2億6,000万円です。約2億円の土地についても、千歳会に30年間も全額無償で貸付けを行う予定です。千歳会はあまりにも優遇され過ぎです。船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷の4市の市民の財産で

ある建物と土地を、不真面目な人物が理事長を務め、不当労働行為などを繰り返す法人に引き渡してよいのでしょうか。

千歳会に対し優遇を行っても、三山園で働き続ける職員の待遇が今後長期間守られる保障はありません。利用者へのサービスの質の維持、低い料金設定、4市における虐待などの困難ケースの受入れといった、三山園が果たしてきた役割についても将来にわたって維持される保障はありません。

公設公営であれば、問題が発生すれば、このように公開された議会で監視をして市民や利用者の意思を反映させることができますが、一旦民営化されたら議会による監視、市民要望の反映もできなくなります。

以上、問題だらけの三山園民営化を追認する本議案に反対するものであります。

以上で討論を終わります。

○議長（中央重則議員） ほかに討論はありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 次に、賛成討論を行います。

賛成討論の方の発言を許します。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 討論なしと認めます。

よって、討論を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより採決に入ります。

本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中央重則議員） 起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

.....

○議長（中央重則議員） 次に、日程第6、議案第3号四市複合事務組合情報公開・個人情報保護審査会条例及び四市複合事務組合行政不服審査会条例の一部を改正する条例を議題といたします。

〔議案第3号は巻末に掲載〕

○議長（中央重則議員） 提出者から説明を求めます。

事務局長。

○事務局長（白土太） それでは、議案第3号四市複合事務組合情報公開・個人情報保護審査会条例及び四市複合事務組合行政不服審査会条例の一部を改正する条例につきまして御説明させていただきます。

議案書の9ページになります。

提案理由といたしましては、本年6月1日に刑法等の一部を改正する法律が施行されることに伴いまして、条例の所要の改正を行うものでございます。

内容といたしましては、情報公開・個人情報保護審査会条例及び行政不服審査会条例中、「懲役」を「拘禁刑」に改正するものでございます。

また、経過措置といたしまして、刑法等の一部改正前にした行為の罰則につきましては、従前の例によるものとしております。

この改正条例の施行日につきましては、刑法等の一部改正の施行日となっております。

説明は以上となります。

.....

○議長（中央重則議員） これより質疑に入ります。

質疑ありますか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより討論に入ります。

なお、討論がある場合は反対討論と賛成討論を交互に行います。

討論はありますか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 討論なしと認めます。

よって、討論を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより採決に入ります。

本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中央重則議員） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

○議長（中央重則議員） 次に、日程第7、発議案第1号四市複合事務組合議会個人情報保護条例の一部を改正する条例を議題といたします。

〔発議案第1号は巻末に掲載〕

○議長（中央重則議員） 提出者から説明を求めます。

つまがり議員。

○3番（つまがり俊明議員） 発議案第1号四市複合事務組合議会個人情報保護条例の一部を改正する条例について御説明いたします。

提案理由といたしましては、本年6月1日に刑法等の一部を改正する法律が施行されることに伴い、条例の所要の改正を行いたいとするものです。

内容としましては、組合議会個人情報保護条例中、「懲役」を「拘禁刑」に改正いたします。

また、経過措置として、刑法等の一部改正前にした行為の罰則につきましては、従前の例によるものとしております。

この改正条例の施行日は刑法等の一部改正の施行の日、令和7年6月1日となっております。

簡単ではございますが、以上が条例案の説明になります。よろしく申し上げます。

○議長（中央重則議員） お諮りいたします。

本案については、直ちに採決に入りたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 御異議なしと認めます。

よって、これより直ちに採決に入ります。

本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中央重則議員） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

○議長（中央重則議員） 次に、日程第8、議案第4号権利の放棄についてを議題といたします。

〔議案第4号は巻末に掲載〕

○議長（中央重則議員） 提出者から説明を求めます。

事務局長。

○事務局長（白土太） 議案第4号権利の放棄について御説明させていただきます。

議案書の11ページになります。

提案内容につきましては、組合の債権であります介護保険施設利用料の一部が回収不能となりましたことから、その権利を放棄することにつきまして、地方自治法第292条において準用する同法第96条第1項第10号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

放棄する債権の内容といたしましては、船橋市在住の債務者1名について、三山園に入所していた債務者の親に係る介護保険施設利用料24万5,757円となります。

放棄の理由といたしましては、債務者の親が死亡したことにより債務者が相続した未納となっている利用料について、債務者に対し破産の免責決定がなされたことにより回収不能となったことから、この債権を放棄するものでございます。

権利の放棄についての説明は以上となります。

.....

○議長（中央重則議員） これより質疑に入ります。

質疑ありますか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより討論に入ります。

なお、討論がある場合は反対討論と賛成討論を交互に行います。

討論はありますか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 討論なしと認めます。

よって、討論を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより採決に入ります。

本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中央重則議員） 起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

○議長（中央重則議員） 次に、日程第9、議案第5号四市複合事務組合会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例に係る専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

〔議案第5号は巻末に掲載〕

○議長（中央重則議員） 提出者から説明を求めます。事務局長。

○事務局長（白土太） 議案第5号専決処分の承認を求めることにつきまして御説明させていただきます。

議案書の13ページになります。

専決処分の内容につきましては、四市複合事務組合会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正でございます。

条例改正の理由といたしましては、四市複合事務組合が準用しております船橋市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が可決されたことに伴いまして、船橋市条例を準用しております常勤、再任用職員につきましては給与改定されましたが、会計年度任用職員につきましては、組合独自に条例を制定しておりますことから、条例の一部改正を行う必要がありました。

改正の内容につきましては、給料表について、全号給の給料月額を増額し、令和6年4月実働分から遡及して改定し、その他所要の調整を行うものでございます。また、会計年度任用職員の期末・勤勉手当の取扱いにつきましても、支給月数等は常勤の例によるものとしており、遡及改定をしております。

本来であれば、本組合の関係条例の改正条例を議決していただかなければなりません。特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がございませんでしたので、地方自治法第292条において準用いたします同法第179条第1項の規定により専決処分させていただきました。

つきましては、同条第3項の規定により議会の承認を求めるものでございます。

説明は以上でございます。

.....

○議長（中央重則議員） これより質疑に入ります。

質疑はありませんか。

谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 若干質疑をさせていただきます。

まず、本条例の一部改正によって、令和6年度予算と令和7年度予算への影響額について伺います。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 令和6年度につきましては1,062万1,000円の追加支給を行っており、令和7年度につきましては170万9,000円の増額となっております。こちらは三山園の職員の影響が一番大きなところでございます。

以上です。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） それで対象となる方の数なんですけど、予算書の資料によりますと、前年度43人となっておりますから43人だと思います。本年度ということでは8人ですから、35人も減るということになるわけですね。第1号の提案のときにも、会計年度任用職員がかなり減るという説明がありましたが、それでは、この35人の減というのはどういった部署で減るものなんですか。ほとんど三山園ということですか。

○議長（中央重則議員） 管理次長。

○管理次長（谷内悟朗） 35人のところはあれなんですけれども、三山園の職員の人数の減という形で捉えていただければと思います。

○議長（中央重則議員） 谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） ちょっと確認のために伺うんですが、35人全員が三山園なんですか。それとも、ほとんどが三山園ということで、他の部署の方も若干いらっしゃるんですか。

○議長（中央重則議員） 事務局長。

○事務局長（白土太） 35人の減と言われましたが、実際、年度途中での会計年度職員の増もございました。三山園としまして、会計年度任用職員さんが35名いらっしゃいました。事務局で減するのが2名、あと、し

おかぜホールでも2名という人数になっております。

以上でございます。

○議長（中央重則議員） ほかに質疑はありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 質疑なしと認めます。

よって、質疑を終結します。

.....

○議長（中央重則議員） これより討論に入ります。

なお、討論がある場合は反対討論と賛成討論を交互に行います。

討論はありますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 討論がありますので、まず反対討論を行います。

反対討論の方の発言を許します。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 次に、賛成討論を行います。

賛成討論の方の発言を許します。

谷岡議員。

○12番（谷岡隆議員） 議案第5号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正の専決処分に賛成の討論をします。

今回の改正は、会計年度任用職員の時給単価の引上げと期末・勤勉手当の支給月数を昨年4月1日に遡って適用するものです。非正規労働者の待遇改善を進めるという評価できる改正であり、賛成するものであります。

しかし、残念なことに、対象となる会計年度任用職員のうち、今、質疑でも出ました35名については、特別養護老人ホーム三山園の廃止によって、本条例の対象から今後外されてしまいます。今回対象になった会計年度任用職員の方々が移譲先の千歳会へ再就職した後、今回の改善が反映された待遇となるように、四市複合事務組合から千歳会へ働きかけることを強く求め、討論を終わります。

以上です。

○議長（中央重則議員） ほかに討論ありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中央重則議員） 討論なしと認めます。

よって、討論を終結いたします。

.....

○議長（中央重則議員） これより採決に入ります。
本案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（中央重則議員） 起立全員であります。
よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

○議長（中央重則議員） 次に、日程第8、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に大塚裕介議員及び芝田裕美議員を指名します。

○議長（中央重則議員） 以上で、本定例会の会議に付された事件の審議は全部終了いたしました。

○議長（中央重則議員） これをもちまして、令和7年第1回四市複合事務組合議会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後4時51分閉会

[出席者]

◇出席議員（12人）

議長 中央重則

副議長	林	隆	文
議員	芝	田	裕
	針	貝	和
	つ	ま	が
	り	俊	明
	鈴	木	心
	一	林	と
	し	の	り
	松	崎	さ
	ち	大	塚
	裕	介	服
	部	友	則
	谷	岡	隆
	宮	本	泰
	介		

.....

◇説明のため出席した者

管	理	者	松	戸	徹
副	管	理	者	西	水
会	計	管	理	者	大
事	務	局	長	白	土
管	理	次	長	谷	内
し	お	か	ぜ	ホ	ール
菫	浜	齋	場	長	鶴
岡	拓	人			
代	表	監	査	委	員
栗	林	紀	子		

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

四市複合事務組合議会議長	中央重則
四市複合事務組合議会議員	大塚裕介
四市複合事務組合議会議員	芝田裕美